

## 鹿児島県東串良町 視察報告書

視察日 : 令和 7 年 11 月 18 日 (火)

視察先 : 鹿児島県肝属郡東串良町

江津市議会議員 山根兼三郎

東串良町は、大隅半島のほぼ中央東端にある人口約 6 千人の小さな町です。肝属平野に抱かれた平坦な地形で、黒潮の影響で年間平均気温が 17 度と温暖なため、古くから施設園芸が盛んな土地です。

まず町役場を訪問した後、ピーマン・キュウリの選果場を見学しました。この施設は東串良町農業協同組合が昭和 63 年に整備したもので、鉄骨スレート造の広い建屋の中にローラーコンベアが何列も並んでいます。収穫されたピーマンが青いコンテナに山盛りになって次々と流れていく様子は迫力がありました。間近で見たピーマンはどれもツヤがあって立派で、品質の高さがよくわかりました。

東串良町園芸振興会は昭和 44 年に発足した組織で、ピーマン部・きゅうり部・女性部などからなり、198 戸の農家が参加しています。令和 6 年度の実績は、ピーマンが約 4,200 トンで約 26 億円、きゅうりが約 2,400 トンで約 9 億円、合わせて約 35 億円の共販額とのことでした。平成 4 年に「かごしまブランド」の産地指定を受け、平成 16 年には県の農林水産物認証制度の第 1 号を取得、平成 17 年には全国環境保全型農業コンクールで農林水産大臣賞を受賞するなど、長年にわたりブランド力と品質の向上に取り組んでこられた歴史に感心しました。近年は天敵を活用した IPM 栽培にも積極的に取り組んでおられます。

続いて、柏原海岸の沖合約 500 メートルに建設された志布志石油備蓄基地を見学しました。この基地は国家石油備蓄の拠点の一つで、かつては天然の良港として中国との貿易や沖縄・南西諸島との交易で栄えた海が、現在は大型タンカーが入航するエネルギー備蓄の要衝となっています。東串良町にとっても地域経済や雇用に関わる重要な施設であり、国のエネルギー政策を身近に感じることができました。

その後、松林の中に建つドーム型グランピング施設「マルマリン」と大型の屋内遊具施設を見学しました。恐竜をモチーフにしたエア遊具やクライミングウォールなどが設置された屋内施設は天候に左右されず、子育て支援や交流人口の拡大に一役買っているようでした。また、国指定史跡の唐仁古墳群も見学しました。県内最多の 130 基を有し、中でも 1 号墳(唐仁大塚古墳)は総長 185 メートルと九州で 3 番目の規模で、歴史的にも大変貴重な遺産です。

夕方には東串良町の方々との交流会があり、地域の課題や今後の取り組みについて率直な意見交換ができました。小さな町ながら、農業のブランド化を軸に、エネルギー備蓄施設の立地を活かした地域経営、さらには観光や子育て支援にも力を入れている東串良町の姿は、江津市の地域振興を考える上で大いに参考になるものでした。

以上